

令和2年11月19日

安原小学校保護者の皆様 地域の皆様

校長 大井川 久

コロナ禍における子どもたちの安全と充実感のある学校生活について

日頃より保護者の皆様、地域の皆様には、学校の教育活動に温かいご理解とご協力を頂いておりますことに大変感謝をしております。

本校がコロナウィルスの影響を直接受けてから、1ヶ月あまりが経とうとしております。当時は学校全館の消毒の後、4日間の休校を経て学校を再開させました。保護者の皆様、地域の皆様には報道等を通じ、大変なご心配をおかけしたと校長として思っております。

開校後、学校としてこれまでも取り組んできました「子どもたちの健康観察・検温」「マスク、手洗いの徹底」「密を避けた学習中の子ども同士の距離」「静かな給食準備、給食、後片付け」「高学年による短時間の掃き掃除」「職員による全館の消毒」等を改めて徹底していくことをこの1ヶ月特に留意をしながら子どもたちの安全を守っております。保護者の皆様にも「毎朝の検温と記録カードへの記載」「予備マスク、レジ袋、清潔なハンカチ、ティッシュ等の準備」をお願いし、ほとんどの児童が準備をして登校しておりますことに心より感謝を申し上げます。重ねて育友会の皆様が取り組んでくださいました「シトラスリボンプロジェクト（10月24日配付）」は、重大な事態の中でも子どもたちに温かい心を育む学校にとって大変ありがたいものとなりました。お陰様をもちまして、学校内での感染の広まりはなく、開校して早期の内に本来の落ち着きを取り戻し、すべての子どもたちが学校生活を取り戻すことができました。改めて皆様のご理解とご協力に感謝をいたします。

さて、今年度は子どもたちにとっても、特に学校行事の面で例年とは異なるずいぶん我慢を強いられる年度となりました。子どもたちの命、健康を集団生活の中でも守り抜く必要があるため、ウィルス感染の発生状況を見ながら、各学校ごとの実情に応じて行事のあり方を判断、決定していく状況が続いております。これまで本校では、5・6年生の合宿、全校での運動会、マラソン大会、バザー等の中止を決断し、お知らせしてきたところです。このような状況の中でも、学校は可能な限り子どもたちに楽しく思い出に残る行事を規模は縮小し、感染防止対策を十分に行った上で行ってきました。例えば、5・6年キゴ山日帰り自然体験、学年ごとのスポーツフェスティバル、学年ごとのミニ遠足、6年金沢探訪です。大人も子どもも制限が大きく我慢することの多い中ですが、安全に生活を楽しむたくましい「生きる力」を養いたいと私は考えております。

そして、今後につきましても、それぞれの学年で練習している学年合唱発表（保護者限定で配信による公開予定）、6年生を送る会、卒業式と子どもたちの充実感につながる行事の可能性を検討し続けているところです。

本日現在、全国の感染者が2千人を超え、感染リスクが高い状況は全国的に続く見通しです。今後も、安原小学校として、347名の児童の健康を守りながら、できる限り子どもたちの充実感、達成感につながる学習、行事を計画、実施していきたいと思っております。

皆様には引き続き、重ねて学校の教育活動にご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。